

(参考様式4)

事業所名 グループホーム 菜の花 豊平館

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 3 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7 11 12 24	・職員の勤続年数に伴った知識、スキルの不足が見られ向上心の低下、マンネリ化に繋がり、チームとして機能が低下している。	・研修参加にて介護者としての意識や知識、スキルの不足を解消し、チーム全体でケアをすることが出来る。	1) 人事考課の面談を通し、不足している部分の抽出をし個人目標を立案 2) 目標に沿った研修の受講 3) 研修受講案内一覧表回覧 4) 外部研修の受講 5) 受講後伝達研修を行い、知識の向上を図り実践に繋げていく 6) 前年度、学ぶ機会が少なかった権利擁護に関する制度における研修の実施	R7.4.1 ～ R8.3.31
2	2 25	・地域交流の再開はできてきたが、連携を取れるまで発展していない。	・町内会との連携を図り、災害時の協力体制を作る ・児童会館との交流にて子供たちとの触れあえる機会を増やす	1) 町内会長の運営推進会議、避難訓練の参加要請継続 2) 災害時における協力内容の確認 3) 児童会館との関わりの継続 ・ 児童会館担当者との打ち合わせ ・ 子供たちとの交流	R7.4.1 ～ R8.3.31
3	36 37 45 48	・戸外での活動不足にて日々の楽しみや充実感に欠けている。	・レクリエーション以外、戸外での活動を増やすことが出来る。	1) 近隣の散歩にて、地域住民に挨拶が出来るよう支援。 2) 館外における活動 ・ 駐車場やテラスにてティータイムや日光浴の実施 ・ 屋上庭園での畑の活動 3) お金を所持、使用が出来るよう買い物の支援	R7.4.1 ～ R8.3.31
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。